

Q138 [市財政の健全化について]

中学校が建ってから10周年記念を今度する、備品などで何百万のお金を集めないといけないとのこと
でお願いに歩かれた。西小学校の30周年記念の寄付集めもあった。寄付は集めるのも出すのも大変で、
もう少し市で蓄えておいていただきたい。

A

今、西小学校の事は初めて聞いたが、大東中学校10周年で寄付金を集めていらっしゃるとい
う話は、スタートしてしばらくしてから情報をキャッチした。市は、学校施設など公共施設が約300
近くあり、その中で維持修繕が必要な所については重点的にやらなくてはいけないので、順位を
つけて対応している。従って、学校施設などの公共施設で何十周年を迎えた、記念にというポ
ケットのお金がまだ用意できていない。雲南市のポケットにこれからそういうゆとりを持っ
て経営ができるよう、貯金をしながら健全運営をやって、あと20年ぐらい経ったら、10
周年記念ですか20周年記念ですかとポンと出せるように、先を見越した財政運営をやって
行かねばと思う。(市長)

大東町佐世地区

Q139 [総合センターの体制について]

合併して総合センターが遠く感じる。地域との関わりが遠くなる感がある。総合センターの職員も減り、
地域から相談を持ちかけても職員も大変だと思う。大東町内に8か所交流センターがあるの
に対し地域担当職員は1名だが、もう少し地域と行政を結ぶことに取り組んでほしい。

A

合併前と比べると総合センターの職員数は減っているが、本庁の機能は強化している。総合
センターが行政の窓口としてパワーダウンにならないために、地域づくり担当職員を1名
ずつ配置している。また中学校には教員支援コーディネーター、社会教育コーディネーター、
地域コーディネーターと3人のコーディネーターを配置している。これらが総合的に力を
発揮して佐世地区が元気になる町づくりにこれからも力を入れていきたい。宜しくお願
いしたい。またご提言をいただきたい。(市長)

7. [税・使用料等]

掛合町波多地区

Q140 [納付書による納付について]

波多には郵便局があるが、農協での受付ができない。口座振替で行なっているが、事情で落ちない場合
もある。納付書が届いた場合、掛合か頓原の金融機関まで行く必要がある。

納付書による納付を波多地内ですることができるようにならないかお考えいただきたい。

A

本日会計課は出席していないが、この件については事前に伺っていたので、会計課に照会をかけている。
本件は20年にも質問があった。

郵便局では基本的に納付書による振替はない。ゆうちょ銀行は他の金融機関のように公金の集計作業を
行なったり、銀行へ送るといった形ができていない。

郵便局による納付書の取り扱いができないという状況である。将来的には改正されてくるのかもしれない。
ほとんどの公金は口座振替によって郵便局からできることになっているが、納付書だけはできない状
況なので何らかの形で対応をお願いしたい。(掛合総合センター)

公金を扱う場合は指定金融機関があり、山陰合同銀行とJAが2年交代で行っている。

一方が指定金融機関になった場合は、もう一方が指定代理金融機関になり、場所によっては収納代理金
融機関として郵便局が指定されているところが他自治体にはある。

しかし、この場合郵便局にはとられていない。処理方式が合銀やJAとは違うやり方で納付書による取
り扱いができていない。手数料の問題もあり、様々な問題をクリアする必要があり、現在郵便局を窓口と

する納付書納付というものは可能になっていない。(市長)

21年1月にゆうちょ銀行は全銀システムに加入した際に、ゆうちょ銀行口座への振込みは可能になったが、公金の授受については全ての自治体の意向に添えないといった状況がまだ残っている。(掛合総合センター)

三刀屋町一宮地区

Q141 [市会計の未収金について]

雲南市の未収金はどのくらいあるか。

A

21年度の決算では98.6%の徴収率です。県下でも非常に高い徴収率で、8市の中でも1番です。未収金については、合併時点で2億8千万円ありましたが、現在では1億4600万円まで下がりました。税金は下がってまいりましたが、水道使用料や住宅使用料、給食費などの契約に関わるものの料金の未収金が多くなり、今年の4月から市税と合わせて徴収することにして何とか減らしていこうと引き続き努力していきます。(債権管理対策局)

Q142 [軽自動車税について]

軽自動車税が雲南市は近隣市町より低いと聞いた。市民に直接影響あつては困るが、市の歳入のプラスになるので、なにか考えはあるか。

A

軽自動車税の税率は標準税率を採用していますが、松江市や出雲市などは1.2倍の税率で課税しておられます。標準税率の1.5倍までは税法上課税してもよいことになっており、各市町村で税率を決めています。合併の時点では6町とも同じ標準税率を採用しており、現在に至っています。ただ、皆さんにお願いする税金は軽自動車税だけでなく、他の税金もあります。たとえば固定資産税の場合、合併当時まちまちでしたので、平成20年度に1.55%で統一させていただきました。松江市は標準税率の1.4%、出雲市は1.50%を採用されています。それにくらべ、雲南市の方が高くなっていますので、他の市が高いからと言って、税率を上げればよいというものではなく、他の税とのバランスも考えながら決めております。(市民部)

三刀屋町飯石地区

Q143 [固定資産名寄せ帳について]

雲泉寺の住職をしています旧三刀屋町時代にとった名寄せ帳と、雲南市になってからとった名寄せ帳では欠落したものがたくさんありました。吉田や掛合のお寺も確認したら同じく欠落しており、問題になっています。きちんとしていただきたい。

A

国土調査の実施に伴い、地籍図を調整する際に、合筆等されたことから筆数が減少している。(市民部)

大東町大東地区

Q144 [住宅団地入居者の固定資産税の減免について]

定住と協働という問題が提起されているが、地方文化の社会において人それぞれの生活環境も変化してきている。実は私も小さなアパートを持っているが、内情なり勤めなどなかなか把握できないのが実態で、自主組織という以前の問題で住民がどういう考えでおられるのか、例えば万が一の時の対応なりそういうことも含めて考えていかないといけないと思っている。入った方がどういうふうに理解されているのか、そういうことが大事ではないかと思っている。自主組織は、機能の組織なのでその住民がいるということになれば、ゴミの順番とか片付けとかいろいろなことの機能の組織が自然的に出てくるのが自主組織だと思う。先ほど、小山さんが言われた定住ということで14,000人、センサスでは13,900人位になっていると思う。25年前によいとこ祭りで「みんなが主役17,000人の愛」というテーマを掲げた。25年前には17,000人いたのが、14,000人、3,000人も減っている。この現実

地域の力が弱くなる大変なことのように思う。

いろいろな施策を行政でやられているが、大東町は下水道がすごく遅れていて、なかなかつないでもらえない。定住のためには、そういう施策の継続、もう一つは大東中学校の隣に新しい団地ができている。新しい団地に新築された場合には、お金を出不さない固定資産税減免というような施策を講じていただきたい。今、新築したら1軒50万円あげますよという形は、とてもじゃないがとれないと思う。支出が無いところの固定資産免除という形で、住民税が下りてくるという形の施策を進めていかれる方がいいのではないかと、私の定住に関しての考えだ。

A

定住推進の具体策についてお話をいただいたが、住宅リフォーム事業も有効活用をさせていただいている。本当に定住促進に結びつく施策を市民の皆さんからいろいろな意見をいただきながら、これをしっかり受け止めて実行可能な対策を展開していくことが大事であると思う。

只今の新築家屋の固定資産税の減免も一つの方法であると受け止めて、これから定住促進対策をやっけていかななくてはいけない。今、アパートに住んでおられる方がどう考えておられるのか検証しなければならない。

一方では、自治会加入が思うように進まないというのは、課題でありそこをどうしていくのかということ、公共の住宅に入っていただくにあたっては、誓約書をいただいております「自治会に加入する、自治会活動に及び公共施設維持管理をする」と記載してあり、入居者の方が印鑑を押して入っていただくことを徹底していきたいと思う。問題は、そういう誓約書がとれない民間集合住宅に入られた方に対してどうするのか、入っていただくような措置をとりながら対応していく必要がある。(市長)

Q145 [市役所駐車場の使用料について]

人件費について、平成21年度の実績と平成22年度の予算はどうなっているのか。職員の駐車場の件について、駐車料金1,000円ということを知っているが、その後どうなったのか、雲南市全体で何人の方が使っていて、一般会計に計上されていると思うが概算でどれ位なのか。

A

人件費の関係は、平成21年度決算で45億8,300万円、平成22年度予算で45億9,300万円、1000万円程度増えている。人件費は、共済費など社会保険料的な掛金率が上がってきており、職員の減に伴ってもなかなか下がってきていない。人件費は、一般職員、議員の皆さん、市長、副市長、嘱託職員も含まれており、嘱託職員も増えているのでそうした事も影響している。また、三役、一般職についても財政非常事態宣言以降、人件費の削減ということで、給与カットも行っている。

駐車場料金につきましては、本日数字を持ち合わせていない。昨年も質問がありましたが、料金については昨年と同様1人月額1,000円で、これは市内全施設取るということでこのようにしている。本庁の職員の駐車場は、希望する職員に対する駐車場枠が十分確保できていないことやさくら祭り等イベントや大会等がある場合には、職員駐車場は一般車両の駐車場として開放している。こうしたこともあり1,000円としている。(総務部)

[再質問]

駐車場の件については先日たまたま島根県の県庁職員の方に会うことがあり話をした。島根県職員は、毎月5,000円だそうで雲南市から通っている方は、もったいないから電車で通っておられると言われた。雲南市の取扱いとして、どんどんメスを入れていただきたい。

A

毎月、県職員は5,000円ということで、どの地域でも同じか分からないが、少なくとも松江市と雲南市では土地の評価は自ずと差はあると思うが、1,000円が安くて5,000円が高すぎてということは少し吟味をする必要はあると思うが、決してタダでは使用していないので、駐車場の貸しは元より出来るだけ環境にやさしい行政という一環から、広い雲南市でありマイカーが無いとなかなか対応しきれないので、通勤体系のあり方についてはこれからも、こうあるべきと持ちつつしっかりと意識を持ちたいと思う。(市長)